

# 学習指導案

仙台市立愛子小学校 石井 里枝

1. 教科・学年 : 音楽科 第4学年

2. 題材名 : いろいろな音のちがいを感じ取ろう

## 3. 題材の目標

<音楽科>

- ・音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり、表現したりすることができるようにする。
- ・イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。
- ・自分の思いや意図をもち、音楽の仕組みを生かした音楽づくりをする。

<メディアリテラシー>

- ・同じ映像でも、同時に聞こえる音が違うと印象が変わることを知る。
- ・メディアが伝える情報は、制作者の意図を効果的に伝えるために工夫されていることを知る。
- ・同じ情報でも受け手の興味や見方・考え方によって違った意味に伝わる場合があることを知る。

## 4. 本題材における学習指導要領との関連

〔指導事項〕A表現(2)器楽 イ、ウ、エ (3)ア、イ

B鑑賞(1)イ、ウ

〔共通事項〕(ア)音色、リズム、強弱、音の重なり

(イ)反復、変化

## 5. 題材について

### (1)教材観

この題材は、主に学習指導要領のA表現(2)のイ「曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。」ウ「音色に気をつけて旋律楽器および打楽器を演奏すること」エ「互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。」(3)のア「いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現すること。」イ「音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。」B鑑賞(1)

のイ「音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気をつけて聴くこと。」ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づくこと。」に関するものである。

ここでは、声や楽器の音、身近に聴くことのできる様々な音に関心をもって耳を傾けるとともに、表現を工夫する活動を通して、音や音楽に対する感性を育てることをねらいとしている。そこで、音づくりの一つとして、特に素材と音色という視点から音を感じたり奏法を工夫したりして児童自身が考えるいい音、好きな音を見つけていく学習を進めていきたい。

## (2) 児童観

音楽の授業には喜んで活動している児童が多い。技能面では、頭声で歌うことができるようになり、様々な楽曲を通して、歌うことを楽しむ反面、リコーダーなどの運指が不十分な児童もいる。

これまで、簡単なリズム作りなどには何回か取り組んできたものの、音に対しては、普段歌うときや演奏するときに、音一つ一つを意識している様子はなく、じっくりと音色と向き合うことは初めてである。

また、CM視聴に関する事前調査では、児童のほとんどがリアルタイムでのテレビ番組視聴中はCMも見ることが多いと回答している。CMを視聴している児童は、全員が「自分が好きなCMがある」と答えており、その理由としては、「内容がおもしろい」「キャラクターが好き」の他に「歌がおもしろい」「短い歌でまねできるものがある」「曲がリズムカルで楽しい」などといったものもあり、映像の後ろに流れる音楽に着目している児童が約1/3程度いることがわかった。

## (3) 指導観

本題材では、児童がこれまでの学習で行ってきた、反復や変化による楽曲のおもしろさやよさを味わったり、音楽の仕組みや要素を聞き取ったりしてきた活動の経験を生かしながら、自分の思いや意図、イメージを大切にしながら、音楽作りに取り組ませたい。

また、指導に当たっては、音楽づくりの必然性を感じながら取り組むことができるように、総合的な学習の時間「進め！愛子こどもの森探検隊」のテーマ音楽づくり、CMづくりと関連させながら学習を進めていくようにする。これまで、子供たちは、総合的な学習の時間に、森を素材とした活動をしてきた。手つかずの森を道づくりから始めた活動が、自然観察や調査活動、ものづくりなど自然の恵みを生かした活動へ発展し、まとめの活動として感謝祭を行うことになっている。その際、自分たちの森への思いをテーマ音楽やCMを作って表現し、感謝祭を盛り上げたいと考えている。

特に、CMづくりについては、映像と音楽の組み合わせで、自分たちの意図を表現することになり、メディアリテラシーの視点から、映像と音楽の組み合わせの効果に

ついて理解しておくことが大事なこととなる。

音楽科でねらっている「自分の思いや意図」をもった音楽づくり、自分の「イメージにあった音」の表現を行う際にも、映像との組み合わせでその効果を考えることは、音楽のイメージをより際立たせることになり、有効であると考えられる。

このように、メディアリテラシーの視点を持ちながら、映像との組み合わせで活動を進めることで、自分の思いや意図をもって音楽を作ることの楽しさを味わわせ、テーマ音楽づくりに意欲的に取り組んでいくことができるようにしたい。

## 6. 題材の評価規準

題材名	題材のねらい	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	
いろいろな音のちがいを感じ取ろう（8時間扱い）	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の特徴や音色の違いを感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。</li> <li>イメージに合った音を探して、表現の仕方を工夫することができるようにする。</li> </ul>	ア：関心・意欲・態度	音の特徴や音色の違いに関心をもって、進んで聴いたり表現したりしようとしている。				
		イ：感受・工夫	音色や響きの違いを感じ取って、音の出し方や組み合わせ方を工夫している。				
		ウ：表現の技能	音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合った表現をすることができる。				
		エ：鑑賞の能力	楽器の音色の違いや美しさを感じ取りながら聴くことができる。				

...本評価規準例における中心的な項目

...関連的な項目

各次のねらい	教材（…鑑賞教材）	主な学習内容	具体的評価規準例【評価方法】
<p>第一次 音の特徴や音色の違いに気づき、イメージに合う音の組み合わせを工夫して、表情豊かに表現する。 (6時間)</p>	<p>音集め</p> <p>音のカーニバル</p>	<p>いろいろな打楽器の音色の特徴や違いを感じ取る。 打楽器や身の回りの物の素材や奏法を工夫して、いろいろな音色をつくる。</p> <p>音色の違いを生かした音の組み合わせを工夫する。</p> <p>曲の気分や特徴を感じ取って聴く。</p> <p>曲の気分を生かして歌ったり、それに合わせてリズム打ちをしたりする。</p> <p>自分たちの表現したいイメージに合う打楽器の音づくりをする。 グループごとにつくった「カーニバル」を発表し、互いに聴き合う。</p> <p>友達の見を生かして、再度工夫する。</p> <p>歌と各グループの打楽器の音を合わせて、いろいろなイメージの「音のカーニバル」を楽しむ。</p>	<p>音色の特徴や違いに関心をもち、進んで音を探して聴いたり演奏したりしている。 ア【活動中の様子や会話の観察】</p> <p>音色の違いやその組み合わせのおもしろさを感じ取っている。 イ【活動中の様子や発言の観察】</p> <p>曲のおもしろさや楽しさなど、自分が感じたことを生かして、聴こうとしている。 ア【鑑賞中の様子や鑑賞後の発言の観察】</p> <p>拍の流れを感じ取り、互いに音を聴き合いながら、同じ拍子感で歌ったり打ったりすることができる。 ウ【練習中の様子や発言の観察、歌や演奏の聴取】</p> <p>いろいろな音の特徴や音色の違いを感じ取り、それを生かして自分たちのイメージに合う音づくりを工夫している。 イ【発言やカードの記録、グループ活動中の会話や行動の観察】</p> <p>いろいろな音の特徴や音色の違いから感じ取ったことを生かして自分たちのイメージを膨らませ、それに合う音を工夫して表現することができる。 ウ【発言やカードの記録、グループ活動中の様子の観察や音の聴取】</p> <p>音を楽しみ、自分たちのクラスの「音のカーニバル」として、生き生きと表現している。 ア【発言、表情の変化、演奏中の様子の観察】</p>

各次のねらい	教材（…鑑賞教材）	主な学習内容	具体的評価規準例【評価方法】
	<p>森の音楽をつくろう（2時間） 本時1/2</p> <p>（映像不思議シミュレーター「音楽の不思議」活用）</p>	<p>普段自分たちが見ている映像は、音楽がとても大きな役目を果たしていることに気づく</p> <p>効果を考えた音楽作りに取り組む</p>	<p>同じ映像でも、音楽が変わることによって、見る側の印象が変わることがわかる。</p> <p>ウ【発言やカードの記録、グループ活動中の様子の観察や音の聴取】 伝える内容によって作る音楽の要素が変わることがわかり、自分の思いにあった音楽を作ろうとしている。</p>
<p>第二次（2時間） 木管楽器の音楽を感じ取ったり、音楽の美しさを味わったりする。</p>	<p>木管楽器の音楽（とんびネリノガボットノクラリネットポルカ）</p>	<p>木管楽器の音色の特徴や美しさに気づく。</p> <p>楽器の奏法の違いに気づき、それぞれの楽器の音色や形を知る。</p> <p>3種類の「とんび」の音の特徴や奏法の違いを感じ取って聴き比べる。</p> <p>参考曲を聴き、それぞれの主な旋律を演奏している楽器の音色やその曲の雰囲気を味わう。</p>	<p>音色の違いに関心をもって聴こうとしている。</p> <p>ア【鑑賞中の様子の観察、鑑賞後の発言や鑑賞カードの内容】</p> <p>それぞれの木管楽器の音色や特徴、その美しさを感じ取って聴くことができる。</p> <p>エ【鑑賞中の様子の観察、鑑賞後の発言や鑑賞カードの内容】</p>

上記の「題材の評価規準」は、教育芸術社の承諾を得て「教育芸術社 小学校4年指導計画作成資料」を一部用いて記述。

## 7. 本時の学習指導

### (1) ねらい

#### < 音楽 >

自分が伝えたい「気持ちや考え」を、映像と組み合わせることで効果的に伝えるための音楽のイメージをもつことができる。

#### < メディアリテラシー >

同じ映像でも、音楽が変わることによって、見る側の印象が変わることが分かる。

### (2) 本時の評価規準と判断状況例

A	B	C
同じ映像でも、 な感じの音楽を付けると、 な感じがするし、 ××な感じの音楽を付けると な感じがするなど、 音楽と映像の組み合わせ方で印象が変わると言うことを理解し、自分の気持ちを伝える映像に組み合わせる音楽をイメージすることができる。	同じ映像でも、 な感じの音楽を付けると、 な感じがするし、 ××な感じの音楽を付けると な感じがするなど、 音楽と映像の組み合わせ方で印象が変わると言うことに気付いているが、自分の気持ちを伝える映像に組み合わせる音楽をイメージすることにつながらない。	音楽と映像の組み合わせ方で印象が変わると言うことが理解できない。

(3) 展開

時間数	学習内容と主な学習活動	指導上の留意点	資料・教具
3分	<p>1. 「愛子こどもの森」のイメージCM(映像のみ)を見て、映像と音楽の組合せについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ふだん見ているCMと比べて足りないものを考える。</li><li>・CMに音楽があった方がよいかどうか考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・音楽(BGM)の無いCMを用意して、音楽が足りないことに気づかせる。</li><li>・どうして音楽があった方がよいと思うのか理由を聞きながら、CMで伝えたい自分たちの「気持ちや考え」を効果的に伝えるために音楽は必要であろうということを確認する。</li></ul>	児童が制作したCM
1分	<p>2. 本時の学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森のCMの映像と組合せる音楽のイメージを考えよう。</div>		

時間数	学習内容と主な学習活動	指導上の留意点	資料・教具
25分	<p><b>3.音楽を組み合わせることで映像の見え方(印象)は、どのように変わるのか確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽なしの映像を見てどんな印象を受けるか考える。 「女の子は、どんなことを考えていると想像できますか？」</li> <li>・同じ映像に音楽A、B、Cを組み合わせたものをそれぞれ見て、どんな印象を受けるか考える。 「女の子は、どんなことを考えていると想像できますか？」 「どうしてそう感じましたか？」 「音楽のイメージを言葉で表すと？」</li> <li>・異なるイメージの音楽を組合せた映像を見比べてわかったことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽がないと、印象は様々であることに気付かせる。</li> <li>・理由を聞くことによって、組み合わせた音楽のイメージによって印象が変わることを確認する。</li> <li>・音楽のイメージを言葉で表現できるようにしておく。(学習活動4につなげる)</li> <li>・確認のために、再度ABCの音楽を聞かせる。</li> <li>・映像と音楽の関係についてわかったことを、自分の言葉で書かせる。たとえば、文頭を「同じ映像でも～」などというように、多少の型をあたえることで、書く内容の方向性を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC</li> <li>・電子黒板</li> <li>・「映像不思議シミュレーター」</li> </ul>



時間数	学習内容と主な学習活動	指導上の留意点	資料・教具
15分	<p><b>4 .森のCMに合う音楽はどんな音楽かを考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が伝えたいことにあう音楽のイメージを言葉で表現する。</li> <li>・ペアで発表する。</li> <li>・全体で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが作ったCMに、自分ならどんな音楽をつけたいか（何を伝えたいのかという理由をはっきりさせながら、）自分なりのこだわりが見つかるようにする。</li> <li>・活動が進まない児童には、音楽の速度やテンポ、曲の気分など音楽的要素もキーワードとして出し、言葉による表現の助けとなるよう声がけする。</li> </ul>	
1分	<p><b>5 . 次時の学習を知る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時はPCで実際に音楽を作ってみることを伝え意欲を持たせる。</li> </ul>	

## 8. ワークシート

「映像不思議シミュレーター」の「音楽の不思議（音楽なし）」を、児童に視聴させ、登場人物の女の子が何を考えているかを記述させる。

「映像不思議シミュレーター」の「音楽の不思議（音楽A）」を視聴させ、登場人物の女の子が何を考えているかを記述させる。

「音楽A」で聞いた曲は、どのようなイメージかを記述させる。

音楽の不思議 4年 組 番 ( )

音楽を組み合わせることで映像の見え方（印象）は、どのように変わるでしょう？

音楽なし の場合	女の子	音楽A の場合
		(音楽のイメージ)
音楽B の場合		音楽C の場合
(音楽のイメージ)		(音楽のイメージ)

同じ映像でも  
-----  
-----  
-----  
すると、見え方が変わる。

「映像不思議シミュレーター」の「音楽の不思議（音楽C）」を、児童に視聴させ、登場人物の女の子が何を考えているかを記述させる。

「音楽C」で聞いた曲は、どのようなイメージかを記述させる。

「映像不思議シミュレーター」の「音楽の不思議（音楽B）」を、児童に視聴させ、登場人物の女の子が何を考えているかを記述させる。

「音楽B」で聞いた曲は、どのようなイメージかを記述させる。

「映像と音楽の関係」について、児童が考えたことを記述させる。

- ・「森のCM」にどんな音楽をつけたらよいかを、児童に記述させる。
- ・どんな音楽にしたらよいか思いつかない場合は、速さ、曲の気分、楽器、音色などのキーワードを使って考えさせる。

どんな音楽をつけたらよいか、考えよう！  
(キーワード：速さ・曲の気分・音の高さ・楽器・音色)

【理由】

- ・何故その音楽がよいと考えたか、理由を記述させる。
- ・記述させるときに、「森のCMで児童が伝えたいこと」を思い出して考えることを、児童に伝える（児童に、「森のCMで児童が伝えたいこと」を考えた時のワークシートを返却しておく）。

#### 「森のCMについて児童が伝えたいこと」

児童は、本時の前に、森のよさを伝えるCMをつくるために、「CMでは何を伝えたいか」について考え、映像（写真）と言葉を組み合わせるところまでのCMを製作している。p14に、その時に児童が記述したワークシートを示す。

< 児童が記述したワークシート >

音楽の不思議 \_\_\_\_\_ 年 組 番 ( \_\_\_\_\_ )

音楽を組み合わせることで映像の見え方 (印象) は、どのように変わるでしょう?

**音楽なし の場合**

・あきり 気もちが、行えたいことがわから  
ない。

・音楽があつたほうが いい。

**音楽A の場合**

・ショック ・つまんなそう  
・悲しそう ・一人だけ、でみしい

(音楽のイメージ)  
暗い、ゆくり、音はひくい。

**音楽B の場合**

・うれしい ・気もちがあちついている

・楽しい ・なつかしい

(音楽のイメージ)  
明るい、活き活き、音はあつまっている。

**音楽C の場合**

・なげんで いる ・こわい

・心配 ・いやなかんじ

(音楽のイメージ)  
高くな、たりひくくな、たり、ぐるぐる回っているかんじ

同じ映像でも 音楽がちがければ、そのえいそうの 行えたいことかわる。  
音でいや、音楽をかえれば、ちがうふうに見える。

すると、見え方が変わる。

音楽の不思議 \_\_\_\_\_ 年 組 番 ( \_\_\_\_\_ )

音楽を組み合わせることで映像の見え方 (印象) は、どのように変わるでしょう?

**音楽なし の場合**

なにしているかわからな

**音楽A の場合**

かたしろう  
7ラれてショック

(音楽のイメージ)

**音楽B の場合**

本としていふがま

(音楽のイメージ)

**音楽C の場合**

まはる?

(音楽のイメージ)

同じ映像でも おんがくがかわると、かんじもかわる。まじわっている  
は、こまがまじわりのなかにうが、まじわ。

音楽の不思議 \_\_\_\_\_ 年 組 番 ( \_\_\_\_\_ )

音楽を組み合わせることで映像の見え方 (印象) は、どのように変わるでしょう?

**音楽なし の場合**

頭で何か考えている。  
つまらない。

**音楽A の場合**

悲しい。おもしろくない。つまない  
何か心配

(音楽のイメージ)  
ゆくり、波がある、暗い感じ。

**音楽B の場合**

よこんでいる。楽しい。おもしろい。

(音楽のイメージ)  
明るい。波が少ない。ない。

**音楽C の場合**

何か考えている。なんかよく分からなく  
思っている。いやな感じ、気分が悪い。  
おもしろい。こわい。不安

(音楽のイメージ)  
不安定。

同じ映像でも 音楽がなかつたり、音楽の音の高さや、音楽の速さや、音楽の明る  
るさかちがってくると、映像の中の人などの思っていることが変わたり

すると、見え方が変わる。

どんな音楽をつけたらよいか、考えよう！

(キーワード: 速さ・曲の気分・音の高さ・楽器・音色)

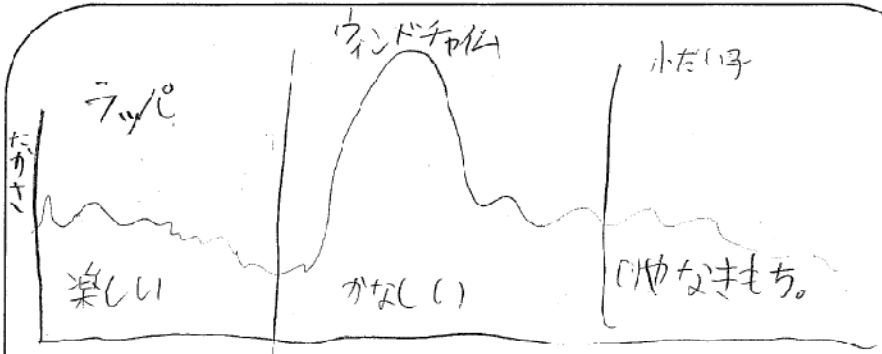
速さはちょっとゆっくりめ。曲の気分はやさしくて少し楽しい曲。  
音の高さは高め。波が少なめ。楽器はピアノなどのはげしくない楽器。音色はやさしい感じ。

【理由】

森はおたやかで楽しい森なのでやさしい音色で少し高めの音

どんな音楽をつけたらよいか、考えよう！

(キーワード: 速さ・曲の気分・音の高さ・楽器・音色)



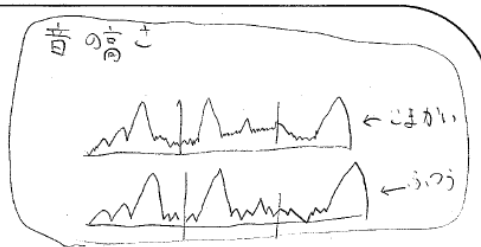
【理由】

しぜんゆたかなほしよにも、たのしいにとかなしいにとかいやな  
ことがあるから、あてはしい。

どんな音楽をつけたらよいか、考えよう！

(キーワード: 速さ・曲の気分・音の高さ・楽器・音色)

速さは、またり  
曲の気分はゆかいな感じ  
音の高さは高い音  
楽器 トランペット  
音色  
はずむかんじ  
オクストラ、ほりかんじ。



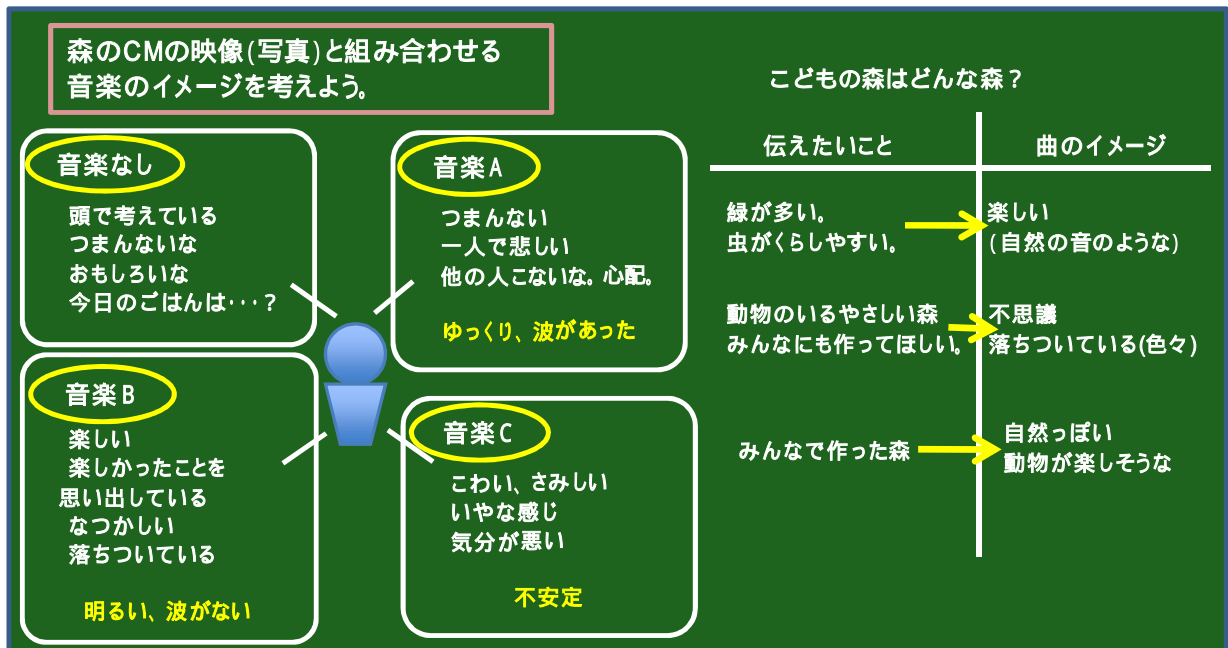
【理由】

自然かきもちよくて、  
頭がスッキリするから、森とかには、コマをすてなひてほしい。

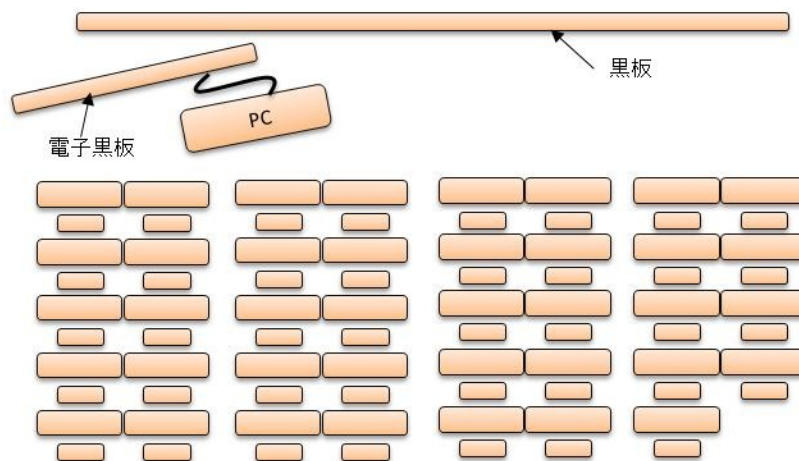


## 9 . 板書・教室配置図

### < 板書 >



### < 教室配置図 >



## < 参考資料 >

### 授業で使用した映像・教材の概要

#### 児童が製作したCM

- ・本時では、学校の近くにある森を紹介するために、児童が製作したCMを使用した。
- ・CMは、本時の段階では、写真とテロップで製作されており、音声や音楽が無い状態となっている。
- ・CMは、児童が撮影した数百枚の森の写真から、4枚を児童に選ばせ、パソコンで4枚の写真をつなげて見られるようにした。トータルで15秒で見られるようにすることを条件に、1枚の写真は何秒で表示するかについても児童が考える。また、各写真に1行ずつ入れるテロップ(コメント)も児童が作成。
- ・完成したCMは、校内で流す。
- ・CMは、児童がペアとなり作成。
- ・本時では、児童が作成したCMのうち2つのCMを、電子黒板で映して見せた。

#### [ 児童が作成したCMのイメージ ]

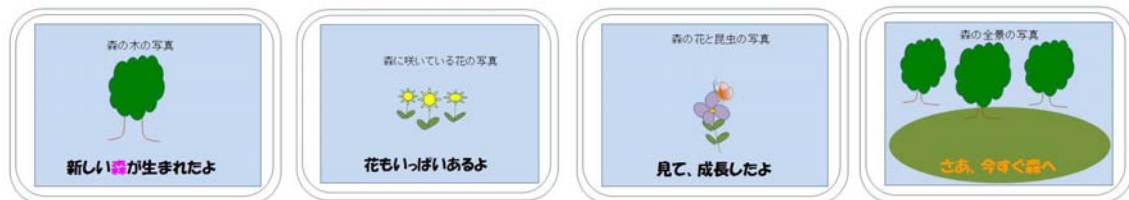


写真 + テロップで作成

#### 「映像不思議シミュレーター」(総務省教材)

- ・パソコン上で操作しながら、カメラワークや音楽などのテレビ番組の「演出」について学習できる教材。「カメラの不思議」「ライトの不思議」「編集の不思議」「音楽の不思議」、「学校ニュースを作ろう」に関する活動があるが、本時では、「音楽の不思議」を使用。
- ・「映像不思議シミュレーター」は、「総務省 放送分野におけるメディアリテラシー」サイト([http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/top/hoso/tv.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/hoso/tv.html))で、無料で使用できる。